

# (概要版) 都城市こども計画

## 第1章 計画の基本事項

### ■計画策定の趣旨

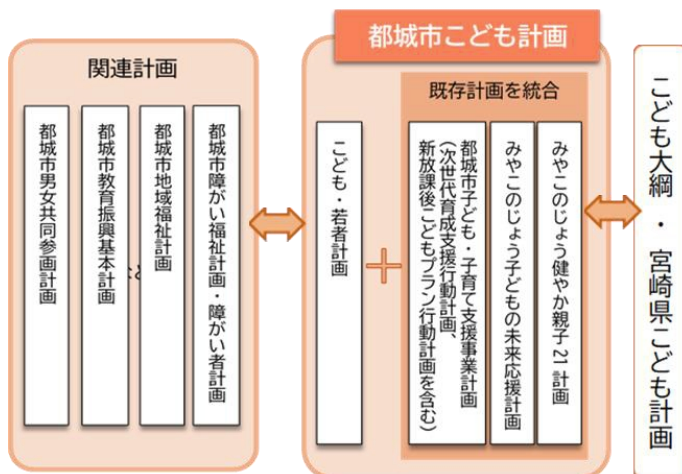
すべてのこども・若者が、将来にわたって、  
幸せな生活を送ることができる「こどもまんな  
か社会」の実現を目指して、こども施策を社会  
全体で総合的かつ強力に推進していくための  
計画

### ■計画期間

令和7年度から令和11年度 5年間

### ■計画の位置づけ

現行の3つのこどもに関する計画を統合し、  
こども・若者計画の視点を加え策定



## 第2章 都城市のこども・若者に関する現状

■出生数は、年々減少しているものの、移住施  
策や3つの無料化の子育て施策等により、こど  
もや子育て世代が増えていることから、更なる  
子育てしやすい環境づくりが必要

■保護者へのニーズ調査・生活状況調査から  
・今後期待する市の施策は、「小児医療体制の  
整備」、「高校や大学への経済的負担軽減」「子  
どもの遊ぶ場所や居場所づくり」のニーズが高  
かった。

■こども・若者に対するWEBアンケート調査  
から  
・「思い切り運動ができる広い公園」「暑い日や  
寒い日、雨の日でも室内で動き回って遊べる  
場所」などを望む意見が多かった。

## 第3章 計画の理念及び目標と施策体系

### ■基本理念

こどもの思いを受け止め 人間力あふれるひとを育てるまち  
こどもまんなか みやこのじょう

### ■基本目標

1. こども・若者の健やかな成長
2. 困難な環境にあるこども・若者への支援
3. 地域におけるこども・若者、子育て家庭の支援
4. ライフステージに応じた切れ目のない支援(こどもの誕生前  
から幼児期、学童期・思春期、青年期、子育て期までの支援)

## 第4章 施策の内容

基本目標		施策の方向性
ライフステージ共通施策	1 こども・若者の 健やかな成長	1 こどもの権利の保障と意見聴取の取組 2 こども・若者の居場所づくり 3 総合的な相談体制の充実
	2 困難な環境にある こども・若者への支援	1 こども・若者の貧困問題への取組 2 障がいのあるこども・若者やその家庭への支援 3 いじめ、不登校、ひきこもり、ヤングケアラーに 関するこども・若者への支援 4 児童虐待防止対策の推進
	3 地域における こども・若者、 子育て家庭への支援	1 こども・若者の安全確保とトラブルの防止 2 「地域共生社会の実現」に向けた取組
ライフステージごとの施策	4 こどもの誕生前 から幼児期の支援	1 妊娠前から妊娠期、出産、幼児期までの切れ目の ない保健・医療の確保 2 妊娠・出産・子育て環境の整備 3 保育環境の充実
	5 学童期・思春期の 支援	1 学校教育の充実と環境整備 2 不登校のこどもへの支援 3 思春期の心身の健康と保健対策の充実
	6 青年期の支援	1 高等教育の修学支援と充実 2 若者の経済的自立と就労支援 3 結婚、妊娠、出産等を希望する若者への支援 4 悩みや不安を抱える若者やその家族に対する相談支援
	7 子育て期の支援	1 相談体制・情報提供の充実 2 子育てや教育に関する経済的負担の軽減 3 共働き・子育ての推進と男性の家事・子育てへの 主体的な参画促進

## 第5章 量の見込みと確保方策

### ■子ども・子育て支援法に基づく項目を記載

- 幼児保育・教育の量の見込みと確保方策
- 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと  
確保方策
- 放課後児童対策 など

## 第6章 計画の推進

■計画の進捗状況の点検・評価のため成果指標を  
設定

○こども・若者の視点に立った成果指標

指標	基準値 R6年度	目標値 R11年度
「今、幸せである」と思う こども・若者の割合	79.1%	89.1%
「自分のことが好きだ」と 思うこども・若者の割合	54.4%	64.4%
「誰とでも友達になれる (自分には社交性がある)」 と思うこども・若者の 割合	67.7%	77.7%
自分には「自分らしさがある」 と思うこども・若者の 割合	71.0%	81.0%
「自分が大人になった時に 幸せになっている(自分の 将来に明るい希望を持っ ている)」と思うこども・若 者の割合	73.5%	83.5%

○基本目標に向けた施策・取組の成果目標として  
45項目設定